

# 洋野 うしお

学校教育目標 「学びを広げ 自ら問い 高めあう」

洋野町立種市中学校  
令和5年度校報  
第7号  
令和5年7月6日

## 小山翔大さん 全国大会出場決定！ 3年連続東北大会も！

### 岩手県通信陸上大会 自己ベスト記録更新次々

6月24日（土）・25日（日）、北上市運動公園陸上競技場で第69回全日本中学校通信陸上競技大会岩手県大会が開催されました。5月に行われた久慈地区大会を勝ち抜いた8名が本校から参加しました。

共通男子砲丸投では、3年：小山翔大さんが全国大会出場のための標準記録を見事突破、優勝し、3年連続となる東北大会だけでなく、8月22日～25日愛媛県で行われる全日本陸上競技選手権大会の切符をも手にしました。

また、1年女子1500mの小野美紗さん、共通男子走幅跳の高崎裕生さんも自己ベストを更新するなど、短い練習期間であるにも関わらずしっかりと結果を出すことができました。



13m23で男子砲丸投げを制した小山翔大（種市）

男子砲丸投げ・小山翔大（種市）  
練習から調子がよかったです。参加標準記録（13m00）はクリアできてると思っていました。全国大会はさらに記録を伸ばし、8位以内に入りたい。  
投目は体の運動が良く、リリース位置を前にできた。野球がメンで、陸上は朝に短期集中で取り組んだ。全国大会はさらに記録を伸ばし、8位以内に入りたい。



#### 出場選手の記録

共通男子砲丸投	小山翔大	13m23
1年女子1500m	小野美紗	5分33秒84
3年男子100m	信田雅宏	12秒77
共通男子走幅跳	高崎裕生	5m24
共通女子砲丸投	藤原凧々	8m78
低学年女子4×100mR	小野美紗	竹高羽那
	野場美咲都	田毛友絆奈
		58秒88

#### 令和5年度復興講演会

## 生き抜くための勇気そして家族の希望 ～世界全体を幸福にする「透明な力」～

6月22日（木）5・6校時、2011年の震災当時、釜石市立唐丹中学校で校長先生をされていた藤舘茂さんを迎えて、今年度の復興講演会が行われました。

東日本大震災から12年。被災した時の唐丹中学校生徒の様子やその際に地域の方達と生き抜こうと助け合い協力し合ったこと、中学校を避難所として生活していた様子や県内外だけでなく、世界中の方々に支えられてきたことを話していただきました。

先生は震災後しばらく釜石の海を見ることができなかったということも話されましたが、今では釜石を始め大船渡、陸前高田の震災遺構や、全国で



も最大の被害を出した宮城県の大川小学校も訪れ、震災を忘れないように、あの時のことを伝え続けていこう、と講演活動などを続けているそうです。

最後に、種市中の生徒に向けて、宮沢賢治の「春と修羅」にある「透明な力」という言葉から、世界中のみんなを幸福にするようなエネルギーに満ちてほしいとまとめていただきました。

## 町に感謝を 海をきれいに 浜清掃 全校生徒で町から海浜公園までゴミ拾い

7月5日（水）5・6校時、全校生徒で学校から種市海浜公園を目指して、町の道路や海岸の砂浜などのゴミ拾いを行いました。これは、毎年行っている生徒のボランティア活動の一つで、日ごろ住んでいる町や恵みを与えてくれる海に感謝の気持ちを込めて、ゴミ拾いをしてきれいな街になってほしいと願って行っています。

生徒たちは15名程度のグループを編成し、全10グループに分かれて1時間ほどのゴミ拾いを頑張りました。中には砂浜に埋まっている大きなゴミをとるために、砂を掘り起こす生徒もいるなど一生懸命に活動しました。

また、学校ボランティアとして2名の方が参加されて、生徒と一緒にゴミ拾いをしていただきました。種中生としてだけでなく、洋野町の一員として町や浜をきれいにするために、それぞれができることを日々実践していきたいものです。



## 社会を明るくする運動 一日保護司として3名が参加

7月3日（月）「第73回社会を明るくする運動」の出発式及び意見交換会が行われ、本校からは生徒会長：小林稀さん、副会長：吹切航汰さん、澤口心那さんが出席しました。

まず役場種市庁舎1階ロビーで出発式を行い、その後4階大会議室にて「友だちのためにできることについて考えてみよう」意見交換会に出席しました。この催しも3年ぶりに行われたことで、学校だけでなく町の行事もコロナ前に戻つつあることを実感できました。

